

とやま

県広報とやま

2001 | 10 月号

No.388

富山県

特集 健康づくりはみんなの取り組みから

～元氣とやまの健康づくり～



第3回YOSAKOIとやまで2年連続最優秀賞を獲得した越中夢創隊(とやまドリームメーカーズ)の皆さん。

8月
3日

東西の演劇祭が世界の文化振興のため協力

富山国際アマチュア演劇祭とモナコ世界演劇祭が友好提携

■富山国際アマチュア演劇祭とモナコ世界演劇祭との友好提携（パートナーシップ）の調印式が、八月三日、モナコ公

国政府庁舎で行われました。モナコ公国政府からの公式招待を受け訪問した中沖知事は、モナコ公国国務大臣らが立ち会い、友好的な雰囲気

に包まれたなか、両演劇祭の代表が署名を行いました。

■これは、七月二十六日から八月四日までの間に開催された、第十二回モナコ世界演劇



友好提携の調印式を終え、握手をする両演劇祭の代表者

祭に本県の公演団が招待された際に、実現したもので、世界の東西を代表する両演劇祭の提携は、国際的にも画期的なことです。

■これを機会に芸術文化のネットワークが全世界に広がり、世界の平和と芸術文化の振興に大きく寄与するものと期待されます。

●問合せ

県庁生活文化課

☎ 076(444)3455

8月

23 ~ 26日

映像を通じて、地球環境の大切さを実感

ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル2001

■世界三大自然・野生生物映像祭の一つJWF2001が、八月二十三日から二十六日までの四日間、富山市などで開催されました。

■同映像祭は、動植物の生態など自然をテーマにした作品を通して、地球環境の大切さ



開会式であいさつをする中沖知事

を知ってもらうことを目的としています。

■五回目の今回は、これまでで最高の世界三十八の国・地域から四百三十五作品の応募があり、最終ノミネート作品の五十二本のうちの二十七本と海外の映像祭からの招待作品十五本が日本語に吹き替えられて上映。最終日には、受賞式が行われ、「カバの約束」（イギリス）が大賞を獲得しました。

■このほか、「環日本海の生物多様性（日本海学の視点から）」と題したセミナーや国内外のゲストによるトークショーなども行われ、会期中は延べ約四万二千人の観客でにぎわいました。

■ひたむきな生命の営みが映し出された映像に触れること

で、自然環境保護への関心が高まることが期待されます。

●問合せ

県庁広報課

☎ 076(444)3134

8月

30日

住民とふれあう一日

大門町で知事のまちまわり

■知事と県民の皆さんとが直接ふれあい、意見交換などを行う「知事のまちまわり」が、八月三十日、大門町で行われました。

■中沖知事は、午前中、農村環境改善センター、緑地公園相撲場、きらら保育園などを視察しました。このうち、農村環境改善センターでは、越中だいまん風の会の皆さんと交流。同会から、今年で二十

三回目を迎えた「越中だいまん風まつり」の苦労話が披露され、知事は「日本の元気は越中だいまんからということ」で風を大いに揚げてもらい、日本の景気を良くしてください」と述べるなどなごやかな交流が行われました。

■午後からは、町議会議員との懇談会が行われ、小学校・幼稚園の早期整備などについて幅広く意見交換が行われました。

■続いて、上条住宅団地、大門町企業団地などを視察したあと、パークゴルフ南郷では、大門町パークゴルフ協会の皆さんと交流。平成二十二年に本県で開催される全国スポーツ・レクリエーション祭が話題となり、知事が激励の言葉をかける場面もありました。

■県では、今後も知事が県民の皆さんと積極的にふれあい、地域の現状などを視察することにより、魅力にあふれ、活力ある地域づくりを推進していきます。

●問合せ

県庁広報課

☎ 076(444)3133



なごやかに行われた住民の皆さんとのふれあい対話

CONTENTS 目次

TOPICS【トピックス】	1
県政の動き / 県ナビとやま	2
特集	3
健康づくりはみんなの取り組みから —元気とやまの健康づくり—	
CLOSE UP【クローズアップ】	7
広げようボランティアの輪!!	
とやま感動案内	9
桂湖	
とやまのやる気・元気	11
越中夢創隊(とやまドリームメーカーズ)会長 岸谷 徳幸さん	
インフォメーション	12
県政ミニガイド	13
行ってみよう情報	14
とやま音のある風景	15
高岡古城公園の野鳥と虫の声 [高岡市]	

2001. 10月号 No.388

インターネットでもご覧になれます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/toyama/saishin.htm>



県政の動き

(8/3 ~ 9/14)



- 8月 3日** 富山国際アマチュア演劇祭とモナコ世界演劇祭との友好提携調印式
- 22日** 子どもとやま県議会
- 23日** ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル 2001 (~26日)
- 24日** 第22回北信越国民体育大会 (~26日)
- 25日** 第8回BeSeTo演劇祭 (~9月15日)
- 30日** 知事のまちなまり (大門町)
- 9月 1日** 新大長谷第一発電所が営業運転開始
- 5日** 県総合防災訓練
- 12日** 9月定例県議会 (~27日)
県職員ノーカーデーの実施 (今後、毎月第2、第4水曜日に実施)

県の施設 ナビゲーター

県ナビ
とやま

No.4

農業技術センター・果樹試験場

“たくましい果樹産地”に
役立つ技術を開発します。



県農業技術センター・果樹試験場では、県内各地域に根ざした果樹産地の定着を目指し、次のような仕事をしています。

- (1) 優良新品種の選定**
本県の自然条件や需要に適合した新品種を選定
- (2) 新品種の栽培法確立**
味がよく、鮮やかな赤色が特色のリンゴ「こうたろう」などの優良新品種の収量や品質を高める栽培法を確立
- (3) 水田転換畑リンゴの生産安定を図る技術開発**
樹高の低い台木や機能性の高い育苗ポットを利用した若木の育成方法、早期に収穫できる仕立て方法などを開発
- (4) 果実の品質向上を図る技術開発**
高品質な干し柿の原料となる品種(三社) さんじゃ の生柿生産技術などを開発
- (5) 病害虫防除体系の確立**
定期的調査に基づく主要病害虫の発生予察情報を提

供するとともに病害虫の防除体系を確立

- (6) 低コスト・省力生産技術の開発**
仕立て方法の改善、天敵を利用した省力的防除技術や受粉作業の機械化体系などを開発 (写真上)
- (7) 品種の保存・展示**
県原産品種(氷島(柿)、「稲積」(梅)など)の保存や各種果樹の品種比較・展示

■ DATA

農業技術センター・果樹試験場

〒937-0042

魚津市六郎丸1277-1

☎ 0765(22)0185

FAX 0765(22)6930

E-mail kajushikenjo@pref.toyama.jp

開所時間は午前8時30分から午後5時まで

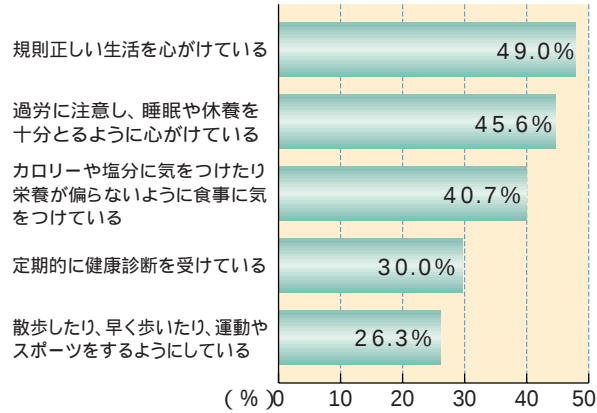
ホームページ

<http://www.agri.pref.toyama.jp/>



健康づくりはみんなの取り組みから

■日常生活で心がけていること[上位5項目、複数回答]



資料：健康づくり県民意識調査（平成12年1月富山県実施）

新プランの特色

県では、昭和六十二年に県民ヘルスプランを策定し、病気の早期発見、早期治療などの「二次予防」や市町村保健センターなどの「ハード面」の整備を重点として健康づくりを進めてきました。

今後は、近年増加する生活習慣病を予防するため、自己の健康づくりの実践はもとより、家庭や地域、学校、職場などが地域ぐるみで個人の健康づくりを支える環境を整備することが重要です。

新プランでは、『健康寿命』の延伸の基本目標のもと、県民自らの健康観（健康に対する考え方）に基づく一人ひとりの取り組みを尊重しています。

また、県民一人ひとりの健康づくり、個人を支える地域の健康づくり、健康を支援する環境づくりの三つの柱のもと、各種施策を推進することとしています。このプランには、次の四つの大きな特色があります。

1 一次予防の強化

一人ひとりが望ましい生活習慣を実践することで病気を予防し、健康増進を図る「一次予防」に重点をおきます。

2 目標値の設定

健康づくりの五つの項目（栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、たばこ、アルコール）に具体的な目標値を設定し、その改善・推進に積極的に取り組みます。

3 元気とやまの推進

一人ひとりが生きがいを持ってはつらつと暮らせるよう、栄養・運動・

4 富山らしさ

水と緑の豊かな自然環境、とやま健康パーク（県国際健康プラザ）など多くの健康増進施設、伝統医学、豊かな農水産物、深層水など本県の特性を生かした健康づくりを進めます。



- 利用時間 / 10:00～22:00（日・祝日は～19:00）
- 利用料 / 1日1,800円、3時間1,500円、2時間1,000円
小・中学生は半額、幼児は無料
- 休館 / 月曜日
- 問合せ とやま健康パーク ☎ 076(428)0809
<http://www.toyama-pref-ihc.or.jp>



各コースには受講料が必要となります。

とやま健康パークで心も身体もリフレッシュ！

健康づくりはみんなの取り組みから

- 元気とやまの健康づくり -



延びる平均寿命と増える生活習慣病

我が国は、戦後から二十世紀後半にかけてめざましい経済成長を遂げ、生活環境の改善や医学の進歩などとも相まって、今や世界第一位の長寿国となっています。その中でも、本県の平均寿命は全国上位に位置しています。（男性七七・一六才（全国九位）、女性八三・八六才（全国五位）平成七年厚生省調べ）。

しかし、その一方で、本県では、がん、脳卒中、心臓病が全死亡原因の約六割を占めるなど、生活習慣病が増加しています。

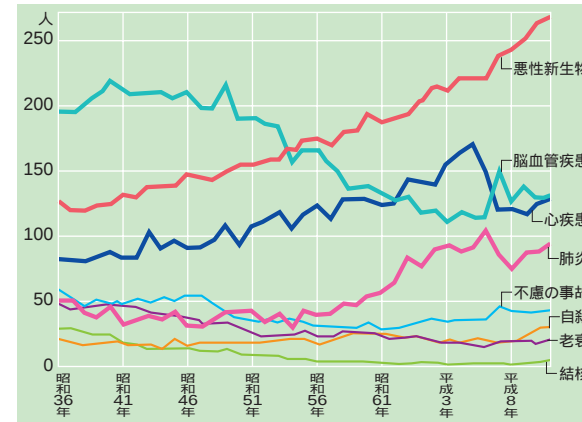
そのため、これからは、生活習慣病を予防し、誰もが健康で明るく元気に暮らすことができ、痴呆や寝たきりにならない状態で生活できる期間、いわゆる「健康寿命」を延ばすことが課題です。

生活習慣病：がん、脳卒中、心臓病、糖尿病など、食習慣や運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣と深く関係している病気の総称。

人生八十年。生涯を通じて健康でいきいきと暮らすことは、県民みんなの願いです。

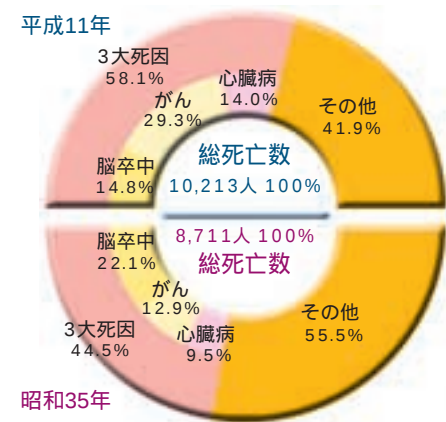
県ではこのたび、昭和六十二年に策定した県民ヘルスプランを見直し、平成十三年度から平成二十二年までの十年間を計画期間とする新県民ヘルスプランを策定しました。

■富山県の主要死因別死亡率の推移（人口10万人当たり）



資料：厚生労働省「人口動態統計」

■富山県の総死亡に占める主要死因の割合



資料：厚生労働省「人口動態統計」

ライフステージに合った健康づくり「健康アクションとやま(県民行動指針)」

ここに挙げるのは一例です。皆さんもできることから取り組んでみましょう。

年 齢 《ステージ》	ステージの特徴	取り組み事例
0才～ 《乳幼児期》	体やこころの基礎的な機能が整い、人格や生活習慣の基礎が確立する時期です。	● 決まった時間に食事や間食を摂る習慣をつけましょう。 ● 身体を動かす楽しさを体験させましょう。 ● 一緒に遊ぶなど、親子のふれあいを深めましょう。
6才～ 《学童期》	身体もこころも成長し、生活習慣が固まる時期です。	● インスタント食品やスナック菓子、ジュース類の摂り過ぎに注意しましょう。 ● テレビゲームは時間を決めて行い、屋外で元気に遊びましょう。 ● 学校や地域での生活を通して社会生活のルールを身につけましょう。
12才～ 《思春期》	身体機能が完成し、精神的にも自己が確立するなど子どもから大人への移行時期です。	● 欠食や食べ過ぎをせず、無理なダイエットはやめましょう。 ● 身体の動きやトレーニングの効果を学習し、身体を鍛えましょう。 ● 飲酒、喫煙、薬物乱用は絶対にやめましょう。
18才～ 《青年期》	社会人として独立する時期であり、ライフスタイルが確立する時期です。	● 栄養成分表示(外食料理などに表示される栄養成分値)を見て、食品や外食を選ぶ習慣を身につけましょう。 ● 運動やスポーツを楽しむ時間をつくり、生涯スポーツに親しむ習慣を身につけましょう。 ● たばこは、妊娠中の女性や子どもの前では吸わないとともに、妊娠中の女性は禁煙しましょう。
35才～ (40才～) 《壮年期》	働き、子どもを育てるなど社会的にも極めて活動的な時期です。	● 動物性脂肪を控えめにして、野菜をたっぷり食べましょう。 ● 趣味やレクリエーションなどによる積極的休養の実践で、ストレスと上手に付き合ひましょう。 ● 定期的に歯石除去などを受け、歯周病を予防しましょう。
65才～ (70才～) 《高齢期》	人生の完成期です。	● 食事は欠かさずしっかり摂り、いろんなおかずを食べましょう。 ● 散歩、ウォーキングなど年齢や体力に応じた無理のない運動を続けましょう。 ● 仕事や趣味、ボランティア活動などを通して、積極的に社会参加しましょう。

共 通	● 塩分の摂取を少なくし、食材のおいしさを味わいましょう。 ● 地元で採れる魚や野菜を十分に食べ、果物・乳製品を毎日摂りましょう。 ● 生活の状況に応じた身体活動やスポーツを、楽しく安全に続けて行いましょう。 ● ストレスのチェックを行い、睡眠時間を十分とり、余暇活動を活用するなど、自分なりの対処法を見つけましょう。 ● 年1回は健康診断を受け、健康状態を確認しましょう。
-----	---

県民全体の目標
(平成22年度まで)

栄養・食生活
量、質ともにきちんとした食事をする人の増加をめざす。

現 状	目 標 値
55.2%	70%

「量、質ともにきちんとした食事」とは、1日最低1食、バランスのとれた食事を、家族など2人以上で楽しく、30分以上かけて摂ること。

身体活動・運動
運動習慣者の増加をめざす。

現 状	目 標 値
男性 22.4%	30%
女性 17.5%	25%

「運動習慣者」とは、1回30分以上の運動を、週2回以上実施し、1年以上継続する人。

休養・こころの健康
ストレス対処法実践者の増加をめざす。

現 状	目 標 値
69.4%	75%

たばこ
未成年の喫煙をなくすとともに、成人の喫煙者の減少をめざす。

現 状	目 標 値
未成年 (高校3年)	男性 29.5% 0%
	女性 11.9% 0%
成人	男性 54.4% 45%
	女性 10.0% 9%

「未成年の喫煙」とは、過去1ヶ月以内に1回以上喫煙したこと。

アルコール
未成年の飲酒をなくすとともに、成人の多量飲酒者の減少をめざす。

現 状	目 標 値
未成年 (高校3年)	男性 44.8% 0%
	女性 38.5% 0%
成人	男性 6.4% 5.1%
	女性 1.5% 1.2%

「未成年の飲酒」とは、過去1ヶ月以内に1回以上飲酒したこと。
「多量飲酒者」とは、1日平均純アルコールで約60グラム(日本酒換算で約3合)以上飲む人。

生活習慣病予防の
取り組みと目標値

生活習慣病の予防のためには、その発症にかかわりの大きい、食生活、運動習慣、飲酒などの生活習慣の改善が必要です。今回新たに、次の五つの項目に県民全体の目標値を設定しました。

県や市町村、各健康づくり関連団体などでは、その目標を達成するため、様々な取り組みを進めます。

栄養・食生活

・栄養教室の開催など、塩分を控えめにし、野菜などを組み合わせたバランスのとれた食生活の推進

身体活動・運動

・とやま健康パークや市町村保健センターなどでの運動教室の開催など、年齢や体力に応じた安全な運動やスポーツの継続の推進

休養・こころの健康

・心の健康づくり学習教室など、こころの健康づくりに関する知識の普及啓発
・リラクゼーションセミナーの開催など、積極的休養法の普及啓発

たばこ

・公共施設などでの分煙の推進やたばこについての健康教室の開催など、学校や職場における健康教育の推進

アルコール

・アルコールが健康に及ぼす影響や適正飲酒についての理解の促進
・酒害に関する知識の普及や未成年飲酒防止の啓発活動の推進

対面販売を促進するなど、たばこ販売業者による未成年者の喫煙防止のための自主的な取り組みの推進

私たちも健康づくりを
応援しています
～朝日町健康づくりボランティア連絡協議会の皆さん～



食生活改善推進員、ヘルスボランティア、母子保健推進員、婦人会の連合組織として、平成九年に立ち上げました。それぞれのグループでは年間を通じて、公民館などでの栄養教室、がん検診などの受診の呼びかけ、身体が不自由な人の外出やリハビリの補助、育児相談や三歳児健診等を活用した子育てサークルなどを行っています。

協議会では、会報や研修会などを通じて、グループ同士の交流を図っています。また、十一月に開催される町の「いきいき健康フェスティバル」での健康寸劇上演に向け、各グループが連携して取り組んでいます。

ボランティアは決して人のためだけでなく、自分自身を見つめ直すいい機会です。いろんな人と出会い、ふれあえることがうれしいですね。

これからもみんなが元気で長生きできるように、一人ひとりの健康づくりのお手伝いができればと思っています。



栄養教室で講師の話に熱心に聞いている参加者

自分にとって合った健康づくりに取り組みましょう

これからは行政だけでなく、様々な団体やグループが県民の健康づくりの取り組みを支え、県民総ぐるみによる健康づくりを県民運動として展開することが大切です。

県では、健康に関する団体の代表者や学識経験者等からなる「富山県健康づくり県民会議」を設置し、市町村をはじめ地域や関連団体、企業などと連携をとりながら、一人ひとりに合った健康づくりの啓発普及や環境の整備を進めることにしています。

皆さんもぜひ、自分の健康をチェックし、自分に合った健康づくりに取り組むよう心がけましょう。

健康情報ネットにアクセスしよう

生活習慣病についての知識やこれからの健康づくりに役立つアドバイスなどを掲載しています。健康づくりにご活用ください。

●アドレス
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1205/>

●特集についての問合せ(ご意見は県庁健康課まで)
☎076(444)3222

富山県民ボランティア総合支援センター

主な取り組み

- ボランティア活動を活性化するために
- ・団体間の交流事業や県民参加型の事業に対する助成
- ・打合せや機関紙づくりなどに自由に利用できるボランティア交流サロンなどの開設(県社会福祉協議会と共同)
- 利用時間：火～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
- 閉館日：月曜(月曜が祝日の場合、翌日閉館)
- 駐車料金は2時間まで無料
- ・団体情報や研修・イベント・助成などの各種ボランティア情報の提供
- ・ボランティアに関する講座や研修の実施

- ボランティアの輪を広めるために
- ・ボランティア活動強調月間の設定、情報紙などによる普及広報活動
- ・県民ボランティア大会やテーマ別交流会の開催
- ・ボランティア相談の実施

- 災害に備えて
- ・災害に備えて関係団体との連絡会の開催、災害救援ボランティアやコーディネーター研修を実施

- 問合せ 富山県民ボランティア総合支援センター
- 住所 富山市安住町5-21(富山県総合福祉会館3階)
- ☎ 076(432)2987 FAX 076(432)2988
- Eメール toyama_v@d5.dion.ne.jp
- ホームページ
http://www.d5.dion.ne.jp/toyama_v/

県民ボランティア総合支援センターなどの取り組み

県民ボランティア総合支援センターは、ボランティア活動の一層の活性化を図るため、平成九年九月に設置され、情報の収集提供や人材の養成、ネットワークや交流活動の支援、活動の拠点となる場の提供など、各種支援事業を実施しています。

これにより、利用団体などによる自主的なネットワーク組織が誕生するなど、ボランティア活動が活発化してきています。

また、県・市町村社会福祉協議会のボランティアセンターでもボラン



ボランティア交流サロン：グループの打合せ、広報誌の作成などに利用されている。

ティア活動に関する相談やボランティア体験、研修会の開催、ボランティアグループに対する助成など各種支援を実施しています。



広げよう ボランティアの輪!!

社会経済環境の変化に伴ない、介護や子育て、環境の問題など、地域社会の課題やニーズが複雑・多様化してきており、これからは、自立と共生の考え方のもとに、住民一人ひとりが地域社会へ積極的に関わっていくことが重要になっています。

ボランティア活動は、こころ豊かなふれあいのある地域社会を実現する大きなエネルギー源です。一人ひとりの参加で県民ボランティアの輪を広げましょう。

ボランティア活動に対する 関心の高まり

平成七年一月に発生した阪神・淡路大震災では、全国各地から百三十五万人を超える多くのボランティアが駆けつけ、救援・復興活動に大きな役割を果たしました。

これを機に、ボランティア活動の重要性が広く認識され、県内でもボランティア活動に対する関心が高まり、福祉・環境・まちづくりなど広範な分野で活動が拡大しています。

特に昨年開催した2000年とやま国体ときらりんびつく富山では、大会の運営、案内介助、環境美化運動などで数多くのボランティアが活躍し、大会の成功に結びつきました。

また、社会的な関心の高まりとともに、平成十年には、「特定非営利活動促進法(NPO法)」が施行され、民間非営利団体(NPO)が比較的簡易な手続きで法人格を取得できるようになっています。

NPO法人格を取得すると

- ・法人名で契約できるようになり、不動産の登記や銀行口座が開設できるようになります。
- ・法人県民税、市町村民税が免除されます。(収益事業を行わない場合)
- ・社会的な信用が高まることで期待できます。
- ・一定の要件を満たし、国税庁長官の認定を受けたNPO法人への寄付については、寄付金控除の措置があります。

一人ひとりが地域づくりの 担い手

二十一世紀を迎えた今日、社会を取り巻く環境が大きく変化し、社会的な課題やニーズがますます多様化・複雑化しています。

このような中で、地域をよりよくしていこうという自立と共生の考え方が重要になってきており、県民の自主的なボランティア活動は、これからの地域社会を支える大きな力として期待が高まっています。

県では、県民の皆さんによるボランティア活動が一層活発に展開されるよう、今後とも活動しやすい環境



づくりを積極的に進めてまいります。

一人ひとりが積極的に社会に参画し、こころ豊かで生き活きた地域づくりを進めましょう。

●問合せ・ご意見は、
県庁女性青少年課
☎ 076(444)9012

1 富山県民ボランティア大会

日時 10月27日(土) 10:00～
会場 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)
内容 式典、表彰、テーマ別交流会
基調講演 講師/増岡弘氏(「サザエさん」のマスオさん役でおなじみの声優)

申込み先 富山県ボランティアセンター
募集締切 10月10日(水)まで

2 ボランティア国際年とやまフォーラム

日時 11月23日(金)～25日(日)
会場 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)
内容 23日(金)
基調講演 講師/牟田悌三氏
(俳優、世田谷ボランティア協会理事長)
ビデオトーク
24日(土)～25日(日)
テーマ別交流会

3 ボランティア活動強調月間(10月)

市町村ボランティアセンターを中心にシンポジウム、ボランティア体験、交流会など各種イベントが実施されます。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

- 問合せ 富山県社会福祉協議会・富山県ボランティアセンター
- ☎ 076(432)6123



昨年開催された富山県民ボランティア大会の様子



ボランティア国際年マスコット
キャラクター ハーディーくん

今年はボランティア国際年

我が国の提案により、二十一世紀最初の年、二〇〇一年をボランティア国際年とすることが、国連総会において、世界百二十三カ国の満場一致で決まったものです。

ボランティア国際年は、ボランティア活動に対する理解を深める、参加を容易にする、横のつながりを強化する、ボランティア活動を促進する、という四つの目標を掲げ、世界各地で様々な取り組みが行われています。

富山県では、ボランティア国際年を記念して十一月に記念フォーラムを開催することになっています。

また、広くボランティア活動への理解を深め、活動の輪を広めるため毎年十月を、ボランティア活動強調月間とし、様々な取り組みが行なわれます。

多くの県民の皆さんの参加で、ボランティアの輪を広げましょう。



マウンテンバイクもレンタルできる。山の空気のなかを爽快に走ってみよう。

桂湖

周辺は白山国立公園、五箇山県立自然公園に位置し、恵まれた豊かな自然と広大な水域を生かして様々な設備が整備されている。総貯水量は約6,000万m³(東京ドーム約48杯分) 境川ダムは、発電、洪水の調節、かんがい・水道用水などに使用される多目的ダム。県営ダムとしては、高さ・総貯水量とも日本一。

営業期間 / 11月30日まで
(来年は4月25日より)

桂湖ビジターセンター / 午前8時～午後5時
オートキャンプ場 / 21区画

日帰り(午前11時～午後4時)2,000円
宿泊(午後2時～翌日午前10時)5,000円

コテージ / 8人用3棟
日帰り(午前10時～午後3時)5,000円
宿泊(午後4時～翌日午前9時)16,000円

レンタルカヌー / 小学生以上
2時間1艇3,000円

マウンテンバイク /
大人用 半日 500円
子ども用 半日 300円

いずれも桂湖ビジターセンターで受け付けます。
オートキャンプ場、コテージの受付時間は午後5時まで、レンタルカヌーは午後3時まで。

問 合 せ / 桂湖ビジターセンター
☎0763(67)3120

■ 自家用車で
東海北陸自動車道五箇山ICから約15分
北陸自動車道砺波ICから約80分



合掌造りをイメージしたコテージは、バス、トイレ、キッチン付きで快適に過ごせる。



湖を眺めながら食事などができる軽食・喫茶「たいむ」。



オートキャンプ場は、21区画。シャワーなど設備も充実。自然のなかで食事をすれば、おいしさも楽しさもひとときわ。



トンネルを抜けると美しい湖面が見えてくる。右に見える開津橋を渡ると桂湖ビジターセンターやコテージなどの施設がある。



桂湖ビジターセンターの展示室では、桂湖の自然や歴史、五箇山の観光紹介などを行っている。



合掌造りと船底をイメージした桂湖ビジターセンターの外観。オートキャンプ場やコテージなどの総合受付にもなっている。

五箇山に深く抱かれて、湖には彩りの季節が訪れる。

自然たっぷりの湖畔でアウトドアを満喫しよう。

桂湖

大自然のふところに生まれた豊かな湖

五箇山上平村の岐阜県との県境近くに、清らかな水をたたえた桂湖がある。平成五年に、境川ダムの完成とともにできたダム湖で、有峰湖、黒部湖に次いで県内三番目の広さを誇る。

かつて、ここには県内最南端の集落である桂集落があったが、過疎化がすすみ、昭和四十五年に人々は村を離れた。その後境川ダムの建設が始まり、十八年をかけて完成。桂の名をもった湖が誕生したのである。

五箇山のふところ深く、静かな湖面を見せる桂湖は、その豊かな自然で私たちを迎えてくれる。

木々や風、水の心地よさを深呼吸しよう

桂湖周辺は、恵まれた環境を生かして、自然と親しむ湖畔のリゾートとなっている。着いたとたん、思わず深呼吸したくなるような気持ちのいい景色が広がっている。

まず訪れてほしいのが桂湖ビジターセンター。桂湖周辺に生息する植物や動物などを紹介する展示室や、五箇山の人々の暮らしなどを

ビデオで見ることが出来るレクチャールームなどがある。カヌーのレンタルも行っており、桂湖の水上体験もできる。

桂湖には、国内でも数少ない二千メートル級の漕艇場があり、ボートのトレーニングなどにも活用できる。シーズン中にはボートの大会も開催される。

休憩や宿泊にはコテージが利用できる。また、キャンプ派にはオートキャンプ場が整備されているので、アウトドアライフも楽しめる。

季節の色は深まってゆく

桂湖には、キハダやトチノキ、コナラなどの木が自生している。近くの溪流にはイワナやヤマメが生息し、桂湖周辺の生き物は千二百種にも及ぶ。

日々色を深める山の木々、響きわたる虫の声、冴えていく空気など、深まる季節の美しさを感じられるのも、五箇山という大自然のなかにあるからといえる。もつすぐ湖面には紅葉が美しく映る。

インターチェンジができたおかげで、時間的にずいぶん近くなった五箇山だが、ここでは確かに自然が時を刻んでいるのである。

みんなが創るYOSAKOIで 富山から燃えるパワーを発信

始まりは五人のメンバー



越中夢創隊(とやまドリームメーカーズ)会長

岸谷 徳幸さん

1974年生まれ 富山市在住

毎年8月に開催される富山まつりで、一昨年から繰り広げられている「YOSAKOI とやま」年々参加チームが増えるなか、昨年、今年と2年連続で最優秀賞を獲得したのが岸谷さん率いる越中夢創隊(とやまドリームメーカーズ)今年も札幌で「YOSAKOI ソーラン祭り」にも県内から初出場を果たすなど、全国に広がるYOSAKOIムーブメントを、富山でも大きく盛り上げている。



第3回YOSAKOIとやまでのパレード。街をステージにして、観客の心を動かす。

高校生から六十代の主婦まで、総勢百名を超えるメンバーから成る越中夢創隊(とやまドリームメーカーズ)。しかし、二〇〇〇年四月の結成時は、岸谷さんを入れてわずか五人。以前からYOSAKOIに興味を持っていた岸谷さんが、「富山の人のだからこそできるYOSAKOIがきつと創れるはずだ」という思いから立ち上げた。その思いに賛同した友人たちから輪が広がって二十人が集まり、結成もない五月には、滑川市の龍宮まつりで早くもデビューを果たした。

「GパンにTシャツで踊ったんですが、とにかく楽しい気持ち伝えたいと思って無我夢中でした」この初舞台をスタートに、メン

バーとそのネットワークで自分たちの演舞を創り上げていった。そして、その年の八月、「第二回YOSAKOIとやま」で最優秀賞に輝いた。

なぜ、富山でYOSAKOIなのか

受賞後、県内各地でのイベントから出演依頼が相次ぎ、注目度が高まる一方で、批判の声が投げかけられることもあったと言っ。それは、高知で生まれ、札幌で育ったYOSAKOIを、なぜ富山でやるのかという疑問。しかし、それに答える岸谷さんの答えは明解だ。それは「富山が好きだから」。

富山を離れて暮らしたことのない、生粋の富山っ子の岸谷さんは、とかく「暗い」「閉鎖的」といわれがちな県民へのイメージを吹き払い、元気で明るい富山をアピールしたいという思いを抱き続けてきた。それをぶつけたのがYOSAKOIだったのだ。

真剣に遊んで、進化しよう

「うちのオリジナル曲は麦屋節・ソーラン節をミックスしています。この富山で脈々と歌い踊り継がれてきた民謡をベースに、現代に生

きる僕たちが新たな解釈で表現できる。それがYOSAKOIの魅力なんじゃないでしょうか」

YOSAKOIを通してできた全国の仲間たちも、故郷への思いを込めて活動していることを知り、岸谷さんは自分の思いをさらに強くした。そして今年六月、札幌の「YOSAKOIソーラン祭り」に県内から初出場。会場を最も盛り上げたチームに贈られる会場賞や個人賞を獲得した。

「メンバーのみんなが踊っていると、きの笑顔を見る瞬間が、世話をやっていて一番よかったと思うときですね」

この夏、第三回YOSAKOIとやままでV2を達成。チームとしては、さらに進化し続けていかなくてはならない。「真剣に遊んでいます」という岸谷さんとメンバーは明るい熱気に包まれている。



練習は、週2日。踊りだけでなく会場におけるマナーにも気を配る。

「人と企業のふれあい広場(ガイダンス&ビジネスフェア2001)」における合同就職面接会の開催

一般求職者および新規大学等卒業予定者を対象に、県内企業と直接面談できる場を提供するため、合同就職面接会を開催します。

日時 11月14日(水) 午後1時30分～5時
会場 高岡テクノドーム「人と企業のふれあい広場」
参加企業 約50社
実施内容 企業の人事担当者等との個別面談による会社概要、採用条件などの説明および面接
●併催イベント・ビジネスフェア(14、15日)
・ベンチャー支援(14、15日)
・セミナー(15日)
求職者は、事前の申込みの必要はありません。(入場無料)

- 問合せ 富山県内のハローワーク
富山労働局職業安定課 ☎076(432)2782
県庁労働雇用課 ☎076(444)8897

ヒューマンコミュニケーションフェスタ・イン・とやま2001の開催

多くの人々が参加し、基本的な人権の尊重について理解を深め、心豊かに暮らせる社会が実現するよう、様々なイベントを行います。

日時 10月30日(火) 午前10時～午後4時
会場 パレプラン高志会館
内容 (1)講演会(午後2時40分～4時)
講師 天野 祐吉氏(コラムニスト、童話作家)
タイトル「面白く生きるということ」
(2)ハートフル映画上映
・「きかんしゃトーマス劇場版 魔法の線路」(午前10時20分～)
・「ミュージック・オブ・ハート」(午後0時20分～)
(3)総合人権相談
人権擁護委員・弁護士による人権・法律相談
(4)人権啓発ビデオ上映
(5)啓発パネル、資料展示
・人権親子の紙芝居コンクールの入賞作品
・世界人権宣言の全条文などのパネル展示

入場料 無料

- 問合せ 県庁生活文化課 ☎076(444)9646

平成13年度 NEAR21事業の開催

北東アジア地域との経済交流を促進するため各種事業を実施します。

(NEARとは、Northeast Asia Region 北東アジア地域の略)

- 中国・韓国・極東ロシア ビジネスセミナー&個別相談会

日時 10月11日(木) 午後1時～5時
会場 富山国際会議場2階 多目的ホール
内容 対岸諸国との輸出入、生産委託や技術交流などのビジネス活動に有益な情報を提供します。

- 国際化人材育成セミナー

日時 10月30日(火) 午後1時30分～4時
場所 富山県民会館701号室
内容 企業の海外事業展開に必要な人材の養成と支援を行っている海外職業訓練協会(OVTA)の支援制度を活用事例も交え、わかりやすく紹介します。

- 入場料 無料

- 問合せ 環日本海貿易交流センター
☎076(432)1321

いきいきとやま・第14回健康と長寿の祭典 - みんなでつくり みんなで支える 健康とやま -

健康づくりに関するフォーラムや各団体による出展、高齢者の生きがいづくり発表などを行います。

日時 10月25日(木) 26日(金) 午前10時～午後4時
会場 富山県民会館 ホール・ロビーほか
入場料 無料

<25日>

- ・新県民ヘルスプラン推進フォーラム
基調講演 鏡森 定信 富山医科薬科大学教授
特別講演 小林 完吾氏(アナウンサー)
公募者などによる健康トーク

<26日>

- ・県老人クラブ大会
- ・こころの健康フェスティバル
- ・国際健康プラザにおける健康づくり体験
送迎バス運行(県庁前 午前10時、午後1時出発 要予約)

- 問合せ 県庁健康課
☎076(444)3222

とやまマルチメディア祭2001の開催

最新情報機器・システムの展示、インターネットやテレビゲームなどのマルチメディア体験、学校などで研究開発されたシステムの発表、講演会などを行います。

日時 10月26日(金)～28日(日) 午前10時～午後5時
会場 富山産業展示館(テクノホール)
入場料 無料

<マルチメディア講演会>

講演会

日時 10月26日(金) 午後1時30分～3時
「IT不況のあとにはじまるIT革命」
中村 伊知哉氏(米MITメディアラボ客員教授)

講演会

日時 10月27日(土) 午後1時30分～3時
「インターネットサービスの運用事例の報告と今後の展開」
菊池 紀芳氏(iバリュー クリエーション社技術部参事)

- 問合せ とやまマルチメディア祭2001実行委員会事務局
☎076(442)6161

定置網新世紀フォーラムの開催

新しい時代の定置網の姿を提案し、環境に優しい定置網漁法の役割を再認識するためのフォーラムを開催します。

テーマ 氷見から世界へ発信! 定置網から考える環境と食料
開催日 11月10日(土)

内容 氷見市民会館 午後1時～4時
基調講演「21世紀の水産業は～資源の持続的利用をめざして」
パネルディスカッション
「海と魚と町づくり～環境と食料を守る漁業とは～」
氷見市教育文化センター
ワークショップ 午後4時10分～5時40分
グループA「漁場環境・漁業資源と定置網漁業」
グループB「定置網漁業の新しい取り組みと技術開発」
グループC「定置網の利点を活かしたブランドづくり」
グループD「定置網漁業における国際協力の展開」

入場料 無料

- 問合せ 氷見定置網トレーニングプログラム実行委員会事務局
(氷見市建設部水産漁港課内) ☎076(74)8101

編集部から

「県広報とやま」の今後の発行計画は次のとおりです。これからも皆さんのご愛読をお願いします。

11・12月合併号【通常版】

11月1日に発行

1月号【各世帯配布版】

1月上旬の朝刊に折り込み

2月号【通常版】

2月1日に発行

3月号【通常版】

3月1日に発行

4月号【各世帯配布版】

3月下旬の朝刊に折り込み

計画は変更になる場合があります。

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。

(例:最新号から1年間購読を希望する場合は、160円×7回=1,120円になります。)

あて先

〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

8月号プレゼント当選者

■水墨美術館の「公募:墨画トリエンナーレ 富山2001」鑑賞券

仲田 緑さん(富山市)、日俣祥子さん(富山市)、鍛冶さち子さん(高岡市)、杉守美紀さん(氷見市)、貫場三樹さん(砺波市)、林田正夫さん(砺波市)、川合幸子さん(小矢部市)、中川ヒロさん(小矢部市)、細川紀子さん(立山町)、寺脇秋夫さん(城端町) 正解は「ふれあい」でした。

県政ミニガイド

勤労者向けの新しい生活資金融資制度がスタートしました。

県では、県内勤労者の福祉の増進と生活の安定を図るため、今月から新しい融資制度を創設しました。この制度では、現在の厳しい雇用情勢に配慮し、離職者に対する特別枠を設けています。

申込み方法など詳しくは、北陸労働金庫の県内支店または県庁労働雇用課にお問い合わせください。

今月、北陸3県の労働金庫が統合し、北陸労働金庫が発足しました。

富山県勤労者生活資金貸付制度

	勤労者	離職者
融 資 対 象 者	県内居住1年以上で、同一事業所に1年以上継続して勤務している方	県内居住1年以上で、離職中であり、現在求職活動をしている方(次の条件を満たす方) ・世帯の生計を維持していること ・雇用保険法による一般被保険者 ・公共職業安定所で求職の申込みをしていること ・雇用保険求職者給付を受給中または受給終了後6ヶ月以内の方
融 資 対 象 資 金	・教育資金 ・結婚資金 ・育児休業や介護休業中の生活資金 ・災害復旧に必要な資金	・住宅改良資金 ・医療資金 ・離職中の生活資金や求職活動に必要な資金
融 資 限 度 額	100万円(担保不要)	
融 資 利 率 等	年2.5%(固定金利。保証料は別途必要です。) 離職者の場合、別に連帯保証人が必要です。	
返 済 期 間	5年以内 育児・介護休業資金、離職者生活資金については、据置期間があります。	

詳しくは県庁労働雇用課ホームページでもご覧になれます。

●問合せ 県庁労働雇用課 ☎ 076(444)3257

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1303/1303.htm>

とやまの情報お伝えします!【10月の県政番組】 タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00~11:30

7日 とやまの漁業
14日 みんなで進める交通安全
21日 元気とやまの健康づくり
28日 ふるさと探訪 ~福野町~

とやまDASH! フォーカス・イン 富山テレビ
毎週日曜 9:00~9:30

7日 芸術の秋
14日 秋をまるかじり
21日 県外出身者から見た富山
28日 スカイスポーツ

富山が元氣。 チューリップテレビ
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00~10:52

28日 とやま特産最前線

とやま県間録 FMとやま
毎週月曜~木曜 11:30~11:40
毎週土曜 11:30~11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

■新聞広報「県からのお知らせ」

10月13日・20日の朝刊各紙に掲載予定

■富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ

ご応募お待ちしております。

今年は、

〇〇〇〇〇〇 国際年です。

〇〇〇〇〇〇を埋めてください。

→ 答えはクローズアップを読めばわかります。

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想・入手方法を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま10月号」クイズ係

締切/11月5日(月)(消印有効)

正解者の中から5名の方に、9・10ページで紹介した桂湖の「レンタルカヌー割引券」をペアでプレゼントします。

近代美術館

富山市西中野町1-16-12
☎076(421)7111

とやま現代作家シリーズ
こころの原風景
【10/4(木)~11/25(日)】
若手を中心とした本県ゆかりの作家32人の
新作・近作を展示します。
会期中のイベント
アートウォッチング「自作を語る」
【10/7(日) 14(日) 21(日) 28(日)】
一般 700円/高・大 500円/小・中 350円
9:30~17:00(入館は16:30まで)
☎月曜・祝日の翌日(10/8, 11/4, 11/24は開館)
常設展示観覧料
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



中央植物園

婦中町上櫓田42
☎076(466)4187

企画展「植物画展」
【10/26(金)~11/7(水)】無料
入場料が必要です。
第9回TOYAMA植物フォーラム
「地方植物誌編纂の課題」
【11/18(日)13:00~16:00】無料
ドリアンを食べてみよう
【11/25(日)13:00~16:00】
定員50名 要申込(先着順) 実費2,000円
9:00~16:30(入館は16:00まで)
☎木曜 一般 600円 小・中 300円



立山博物館

立山町戸崎93-1
☎076(481)1266

特別企画展
「地獄遊覧ー地獄草紙から立山曼荼羅までー」
【~11/4(日)】
国宝・国指定重要文化財を含む、約40点の絵画
を通して日本の地獄思想の変遷を紹介いたします。
一般200円/高・大160円/小・中100円
出展作品説明会
【10/21(日)10:30~12:00, 13:30~15:00】
9:30~17:00(入館は16:30まで)
☎月曜・祝日の翌日(10/8, 11/4, 11/24は開館)
11/6~7は展示館のみ休館
一般 650円 高・大 400円 小・中 250円
展示館・展望館・まんだら遊苑の3施設セット券



立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
☎076(481)1600

企画展「21世紀へ伝えたい SABO
砂防の父・赤木正雄」
【10/23(火)~12/9(日)】
砂防の基礎をつくった赤木正雄博士の足跡
をたどり、彼の砂防哲学が生涯を通じてどの
ように展開したのか、遺品や映像などで紹介
します。
9:30~17:00
☎月曜・祝日の翌日(10/8, 11/4, 11/24は開館)
常設展示観覧料一般 400円 高・大 320円 小・中 200円



海王丸パーク

新湊市海王町8
☎076(825)8811

海王丸総帆展帆
【10/21(日)・11/4(日)】
練習帆船海王丸 寄港(富山新港北埠頭)
【10/18(木)~22(月)】
初代、2代目の海王丸が揃っての一般公開を
行います。
10/20(土) 総帆展帆
10/21(日) 船内一般公開
入園自由 帆船海王丸乗船は9:30~17:00
☎月曜・祝日の翌日(10/8, 11/4は乗船可能)
11/6~30は船体整備のため乗船不可
一般 400円 小・中 200円



県民公園太閤山ランド

小杉町黒河474-16
☎076(566)6166

小鳥のマイホームづくり
【11/10(土) 10:00~14:00】
親子で巣箱をつくり、太閤山ランド園内に掛けます。
受付9:30~こどもみらい館にて
定員/親子15組 要申込 10/31まで 昼食持参
もみじの散歩道
【11/11(日)・12(月) 13:00~16:00】
秋の太閤山ランド内をナチュラルストととも
に歩きます。参加費 200円/小・中100円
9:00~17:00 ☎火曜・祝日の翌日(11/4,
11/24は開館) 11/5, 11/26
入園無料(駐車料金と施設利用料金は別途必要)



自然博物館 ねいの里

婦中町吉住1-1
☎076(469)5252

自然観察会「キノコ狩りとキノコ汁を愛でる」
【10/14(日) 9:00~13:00】
ねいの里の周辺でキノコ狩りを楽しみ、キノ
コ汁を味わうと共に、キノコの発生条件や名
前を調べ、自然界でのキノコの持つ役割を学
びます。
対象/小学生以上
参加費/キノコ汁の食器・材料代として200円
集合場所/ねいの里展示館 要申込 10/12まで
9:00~16:00
☎火曜・祝日の翌日(11/4, 11/24は開園)
10/24, 11/5, 11/26 入園無料



こどもみらい館

小杉町黒河(太閤山ランド内)
☎076(566)9000

造形発見広場「石」
【10/6(土)~28(日)】
様々な形の石の見立て遊びを通じて、いくつもの
造形プログラムが楽しめます。
材料代 100円~300円
郷土玩具が語る地方の風習と伝説
中部9県の郷土玩具展
【11/3(祝)~1/6(日)】
地方の風習や伝説をもとに制作された中部9
県の郷土玩具を約50点展示します。
9:30~17:00 ☎火曜・第4水曜・祝日の翌日
(11/4, 11/24は開館) 11/5, 11/26 入館無料



県民会館

富山市新総曲輪4-18
☎076(432)3111

「ミュンヘン交響楽団」
【10/29(月) 開演19:00~】
ミュンヘン交響楽団は、ドイツ国内はもとより
世界中で高く評価されています。常任指揮者ハ
イコ・マティヤス・フェルスター、バイオリニ
スト アラベラ・シュタインバッハーと共に60名
が初来日し、迫力ある演奏を披露します。
曲目/オール・ブラームス・プログラム
ヴァイオリン協奏曲ニ長調/交響曲第2番ニ長調
S席4,500円/A席3,500円/B席2,000円
(前売・当日とも)



県民共生センター

富山市湊入船町6-17
☎076(432)4500

男女共生トークサロン
女らしく男らしくといった「らしさ」ととられ
ない生き方について考え、フリートークを通じ
て参加者同士の交流を図ります。
昼トーク「あなたの一言、その思いやり〜共に
変わらしましょう、これからの共生社会に〜」
【11/10(土) 13:30~15:30】
夜トーク「語ろう! 夫と妻の役割と子育て
〜夫婦のきずな〜」
【11/22(木) 19:00~21:00】
9:00~21:00(日曜~17:00)
図書室9:00~20:00(日曜~17:00)
☎月曜・祝日



高岡文化ホール

高岡市川中町13-1
☎076(25)4141

「話芸・笑芸」
【10/28(日) 開演18:30~】
漫談、漫才、落語とジャンルの異なる話芸の
達人たちが同じ舞台上で共演し、多彩な話芸を
披露します。
出演者/牧伸二(ウクレレ漫談)
今いくよ・くるよ(漫才)
春風亭昇太(落語)
吉川精一(進行役)
2,500円(当日3,000円)全席自由



県民小劇場オルビス

富山駅前マリエ7階
☎076(455)5311

「舞台芸術・芸能ー発見ライブ in ORBIS」
感動!! いまどきのダンスっておもしろい!!
【11/2(金)・3(土) 開演18:30~】
言葉や道具を使わず、自身の身体で表現し、
コミュニケーションするという他の芸術に
はない特徴を持つダンス。このダンスを追
い求め、世界的にも認められた3人がオルビ
スに集います。
出演/奥睦美、山崎広太、山田せつ子
3,000円(前売・当日とも)全席自由





とやま 音のある 風景

Vol.37

高岡古城公園の野鳥と虫の声
●高岡市

木々に、水に、風に、 重なり合う自然の調べ

市街地の中心部に約二十一万平方メートルの広さを持つ高岡古城公園。ここは、かつて加賀藩二代藩主前田利長が築いた高岡城の跡である。一国一城令により廃城となったが、濠はそのままに残された。

公園とした開放されたのは、明治八年。市民の力によって実現した。

公園の三分の一を占める濠は、今も豊かに水をたたえ、全国的にも珍しい水濠公園となっている。

のびやかに繁る木々、季節ごとに咲く花々、小径に生える草。公園は、自然の姿そのままに、人々の心をつるおす。野趣にあふれた豊かな緑や水は、さまざまな生き物たちにとっても、安らぎの空間となる。

チーッ、チーッ、チチチ。さやさやと葉が風に揺れる音の向こうに、幾種類もの鳥の声。シジュウカラやムクドリなどが古木に巣を作っている。カルガモやマガモが時折たてる水音。草むらからは、鈴の音のような虫の声。歩みにつれて、豊かな自然の歌が耳を楽しませてくれる。

春には桜、秋には紅葉と、人々は季節の折々にここを訪れる。多くの市民に愛されてきた公園は、ありのままの自然を息づかせ、優しく包み込んでいる。

県内50箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。